

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 東京勤労者医療会 代々木病院 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL 03(3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

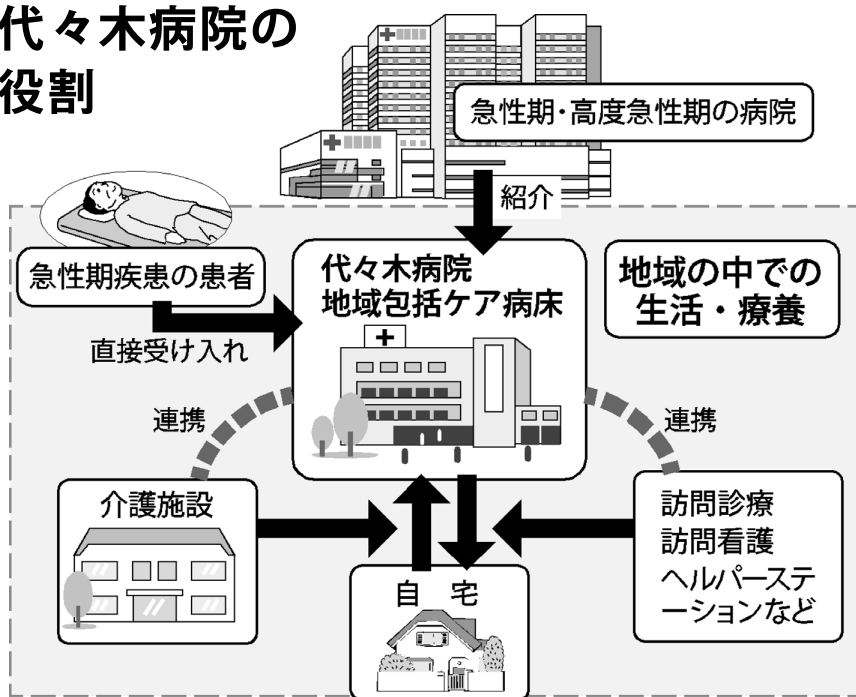
友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

誰もが地域で療養できるように

前列左から井上均院長、代田和博医長、北澤麻子師長と後列に3階病棟スタッフ



代々木病院の役割



地域包括ケア病床スタート

代々木病院では7月から、高齢の方でも、障害のある方でも、「住み慣れた場所で療養を続けられる」ための支えとなる「地域包括ケア病床」をはじめました。患者さんと家族の立場に立ち、安心して利用していただけるようにしていきます。代々木病院の地域包括ケア病床について、3階病棟医長・代田和博医師に説明していただきます。

どんな特徴？

地域包括ケア病床に一番大事なのは「地域の福祉の力(ケアマネジャー、訪問看護ST(ステーション)、ヘルパーST、地域の診療所・病院など)」です。代々木病院は地域の一員として、他の事業者、事業所のみならずと連携していきま

①これまでどおり肺炎や心不全など急性期疾患の治療も行います。きちんと回復した後により早く地域や自宅に帰れることを目指します。②地域に帰っても、リハビリ、訪問診療、訪問看護による「診療」の継続が早まる。③他の医療機関で急性期の治療を受けられた患者さんが地域に戻るためのサポートをします。

早めの取り組み

入院日数に制限はありますが、患者さんが地域にできるだけ早く帰れるような視点をしっかりと

行っているようにしています。

豊富な知識と経験

代々木病院が加盟する民医連の綱領に「地域・職域の人びとと共に、医療機関、福祉施設などの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます」と述べられているように、代々木病院はこれまでも、患者さんの生活により合った無差別平等の医療、多職種間の話し合いに基づ

その人らしい生活を送っていただきたい

3階病棟

北澤麻子師長

3階病棟では、7月から地域包括ケア病床42床(他に一般病床7床)をはじめ、以降、ケアマネジャーから患者さんの紹介を受けられるようになり、地域のケアマネジャーや施設の方とのつながりがより綿密になったことを実感しています。

最後に、皆さんが平等に医療を受けられて、きちんとお家に帰ってその人らしい生活を送っていただけることが私達の願いです。よろしく願いします。

2015 健康まつり 開催のお知らせ

入場無料

【日時】 10月17日(土) 正午～午後3時 小雨決行
【場所】 代々木病院
【主催】 健康まつり実行委員会
包丁とぎ、健康チェック、木工教室など企画・各種模擬店準備中
お楽しみに♪
講演・模擬店などの内容が変更になる場合もあります。

千駄の萱

あの夏から70年、310万人の命を犠牲にして成立した日本国憲法の「平和と民主主義」が風前の灯となっている。世界に誇れる「戦争をしない国」の看板を下ろし、日本は何を目指するのか▼今も国連憲章の敵国条項が適用される日本は、先の大戦の現実や責任について、本気の議論を怠っている。そして、戦争指導者の末裔等による政権は、中国・韓国との真の和解を成立させずにアジアで孤立しながら、国民の多くが望まないにも関わらず、米国の指揮の下「戦争ができる国」になろうとしている▼憲法99条には、国会議員らの憲法遵守義務が規定されている。しかし、圧倒的多数の学者が違憲と判断した安全保障法制を制定しようとする今の政権は99条に違反している。憲法を遵守出来ない国会議員には退場してもらえない▼既に、戦力不保持の憲法9条2項は砂川判決等により、実質的に無効となっており、今回は戦争放棄をうたう9条1項を葬り去ることになる。また、様々な言論への圧力が増すなど民主主義も危機に瀕している。何とかするため、声を上げ続けることが欠かせない。(ま)